

分館及び部局図書館・室記入用

大学番号

(自動記入)

平成 30 年度学術情報基盤実態調査
《大学図書館編》調査票

- 調査票に書かれている記入説明は一部です。定義や記入説明に関しては「学術情報基盤実態調査 記入説明書」に記載してありますので、必ず確認してください。
- 正確な数値が把握できない場合は、概数でも結構ですので、できるだけゼロと回答しないでください。
- 回答を空欄としたまま提出しないでください。やむを得ず回答を空欄とする場合は、各項目の自由記述欄にその理由を記入してください。理由がわからない場合、提出後に問い合わせることがあります。
- 中央館で記入しているため「0」を記入している、タイトル数ではなく冊数を記入したなど、記入した回答が設問の趣旨と合致しない場合は、必ずその理由や、どのように回答したのかを、各項目の自由記述欄に記入してください。
- 前年度と比較して著しい差異(前年度数値の約 20%以上の差異)が生じた場合は、その理由を各項目の自由記述欄に記入してください。

(A) 本調査票で回答する大学図書館・室名(平成 30 年 5 月 1 日現在)

- ◆ 「図書館・室名」には回答する図書館・室名をご記入ください。複数の図書館・室間の区別や、回答システム上のデータに影響するため、必ず正式名称(大学名は除く)を完全な形で記入してください。
- ◆ 新設の図書館・室は、「(E) サービス状況」、「(H) 図書館の公開」への記入は不要です。

大学名	(自動記入)
図書館・室名	
図書館・室設置時期	○ 新設 ○ 既設(改称、統合等を含む)
住所	〒 ー 都道 府県
図書館を共有する短期大学及びその学科名	

(B) 記入担当者

- ◆ E-mail は、担当者が代わった際に連絡が取れなくなるため、できるだけ個人ではなく係等のメールアドレスを記入してください。

氏名	
所属係	
電話	内線()
FAX	
E-mail	

(C) 調査結果報告の冊子体送付希望(中央図書館で記入のため省略)

I 総括事項(中央図書館で記入のため省略)

II 個別事項

(A) 図書館・室の職員数(平成 30 年 5 月 1 日現在)

1 職務内容別内訳

◆ 業務が二つ以上にわたる場合は、主たる業務の欄に計上してください。

◆ 「(5)その他」を選択した場合は、その業務内容を「(A) 4 自由記述欄」に記入してください。

		専任	臨時	計	業務委託等
(1) 管理職		人	人	(自動計算) 人	人
(2) 一般	庶務・会計	人	人	(自動計算) 人	人
(3) 専門		(自動計算) 人	(自動計算) 人	(自動計算) 人	(自動計算) 人
	情報処理	人	人	(自動計算) 人	人
	受入	人	人	(自動計算) 人	人
	整理	人	人	(自動計算) 人	人
	閲覧	人	人	(自動計算) 人	人
	参考	人	人	(自動計算) 人	人
(4) 業務全般		人	人	(自動計算) 人	人
(5) その他		人	人	(自動計算) 人	人
(6) 図書館・室職員総数		(自動計算) 人	(自動計算) 人	(自動計算) 人	業務委託計 (自動計算) 人

2 資格別内訳

	専任	臨時	計
(1) 情報処理技術者	人	人	(自動計算) 人
(2) 司書	人	人	(自動計算) 人
(3) 司書補	人	人	(自動計算) 人
(4) 国立大学法人等職員採用試験(事務系(図書)) 【※国立大学のみ記入】	人	人	(自動計算) 人

3 臨時職員内訳

◆ パートタイムのフルタイム換算数は次の通り算出してください。

(パートタイム職員の 1 日当たりの勤務時間の合計) ÷ (専任職員の 1 日の通常勤務時間)

	人数	フルタイム換算数
(1) フルタイム	人	(自動計算) 人
(2) パートタイム	人	人 【※小数点第 1 位まで記入 (第 2 位四捨五入)】
(3) 合計	(自動計算) 人	(自動計算) 人

4 自由記述欄

- ◆ 「(A) 図書館・室の職員数」に関し、記入した回答が設問の趣旨と合致しない場合(空欄とした場合を含む)は、その理由や、どのように回答したのかを記入してください。
- ◆ 中央館で一括回答する場合や、前年度の数値と著しい差異がある場合で特筆すべき理由がある場合(例:図書館運営を全面委託に切り替えた)など、大学独自の事情がある場合も記入してください。

--

(B) 施設・設備(平成 30 年 5 月 1 日現在)

- ◆ 平成 30 年 5 月 1 日現在工事中のものは含めませんが、平成 30 年 5 月 1 日までに引渡しを受けた部分については記入してください。

1 用途別面積

- ◆ 小数点以下の端数は四捨五入し、整数で記入してください。

(1) サービススペース	閲覧スペース		m ²
	視聴覚スペース		m ²
	情報端末スペース		m ²
	その他		m ²
(2) 管理スペース	書庫		m ²
	事務スペース		m ²
(3) その他			m ²
(4) 総延面積		(自動計算)	m ²

2 閲覧座席数

総閲覧座席数		席
--------	--	---

3 書架収容力

- ◆ 「(1) 棚板」には、自館のすべての棚板の長さの合計値を記入してください。

(1) 棚板		m
(2) 収容可能冊数 ((1)÷0.9×25)		(自動計算) 冊

4 図書館利用者用端末台数

提供方法	台数
据置き	台
うち OPAC 専用端末	台
貸出し	台
合計	(自動計算) 台

5 自由記述欄

- ◆ 「(B) 施設・設備」に関し、記入した回答が設問の趣旨と合致しない場合(空欄とした場合を含む)は、その理由や、どのように回答したのかを記入してください。
- ◆ 中央館で一括回答する場合や、前年度の数値と著しい差異がある場合で特筆すべき理由がある場合(例:耐震工事中、アクティブ・ラーニング・スペースの新設)など、大学独自の事情がある場合も記入してください。

--

(C) 蔵書数(平成 30 年 3 月 31 日現在)

1 印刷物の蔵書数

- ◆ 紙媒体の所蔵数を記入してください。視聴覚資料は「4 視聴覚資料の所蔵数」に記入してください。
- ◆ 製本した雑誌を「(1)図書」に計上したタイトルについても「(2)雑誌」の種類として計上してください。
- ◆ 学位論文(博士論文)を「(1)図書」に計上したタイトルについても「(3)学位論文(博士論文)」の冊数として計上してください。
- ◆ 「(3)学位論文(博士論文)」には、論文博士、課程博士を問わずすべての論文(紙媒体)の所蔵数を記入してください。ただし、内容の要旨及び結果の要旨は含めないでください。

	(1) 図書	(2) 雑誌
(a) 和	冊	種類
(b) 洋	冊	種類
(c) 点字	冊	種類
(d) 全所蔵冊数／種類	(自動計算) 冊	(自動計算) 種類

(3)学位論文(博士論文)	冊
---------------	---

2 電子情報資源の利用可能種類数

- ◆ 同一大学内の複数館で購入しているものは、重複して回答のないように注意してください。

(1) 電子ジャーナル

- ◆ 「電子ジャーナル」は、オンライン及び電子媒体で配布されるジャーナル(有料のもので、図書館が購入しており、掲載論文などの「本文」が読めるものに限る)を指します。購読型、購入型(買い切り型)は問いません。
- ◆ ペイ・パー・ビューの利用により「本文」が読めるようになったものは含めないでください。
- ◆ 冊子の購入に付随して無料で利用できる電子ジャーナルのタイトル数は含めてください。
- ◆ 「その他」は、多くの出版社の電子ジャーナルを包括的に収集・提供するサービスを行う業者(いわゆる「アグリゲータ」)が提供しているものを記入してください。

出版社	国内		種類
	国外		種類
	計	(自動計算)	種類
その他	国内		種類
	国外		種類
	計	(自動計算)	種類
全利用可能種類数	国内	(自動計算)	種類
	国外	(自動計算)	種類
	計	(自動計算)	種類

- ◆ 「(2) 電子書籍」は、オンライン及び電子媒体で配布される書籍(有料のもので、図書館が購入しており、「本文」が読めるものに限る)を指します。
- ◆ 「(3) データベース」は、図書館で購入しているもので、検索を主な目的として利用するオンライン及び電子媒体で配布されるものを指します。
- ◆ データベースであっても、「ジャーナル」「書籍」の「本文」が読める場合は、「(3) データベース」には含まず、「(1) 電子ジャーナル」「(2) 電子書籍」にそれぞれタイトル数を計上してください。

	(2) 電子書籍	(3) データベース
(a) 国内	タイトル	種類
(b) 国外	タイトル	種類
(c) 合計	(自動計算) タイトル	(自動計算) 種類

- ◆ 「(4) 学位論文(博士論文)」は、大学内で公開されているのであれば、自大学で授与した学位論文のほか、他大学で授与された学位論文も含まれます。ただし、学位論文の内容の要旨及び審査の結果の要旨については含めないでください。

(4) 学位論文(博士論文)	件
----------------	---

3 マイクロ資料の所蔵数

- ◆ マイクロフィルム、マイクロフィッシュのタイトル数を記入してください。

マイクロ資料所蔵数	タイトル
-----------	------

4 視聴覚資料の所蔵数

- ◆ CD、DVD 等視聴覚資料のタイトル数を記入してください。
- ◆ CD-ROM 等に収録されている図書・雑誌・データベース等は、「2 電子情報資源の利用可能種類数」に計上してください。

視聴覚資料所蔵数	タイトル
----------	------

5 自由記述欄

- ◆ 「(C) 蔵書数」に関し、記入した回答が設問の趣旨と合致しない場合(空欄とした場合を含む)は、その理由や、どのように回答したのかを記入してください。
- ◆ 中央館で一括回答する場合や、前年度の数值と著しい差異がある場合で特筆すべき理由がある場合(例:電子ジャーナルパッケージの購入中止、冊子体購入から電子資料購入へ切り替え)など、大学独自の事情がある場合も記入してください。

(D) 図書・雑誌受入数(平成 29 年度実績)

- ◆ 印刷物の数値のみを記入し、電子媒体のものや視聴覚資料は含めないでください。

1 図書受入数

- ◆ 「(3)その他」には、雑誌を合冊・製本し図書台帳に記載していわゆる図書扱いとしたもの、学内において移管等により受け入れたもの、弁償本等について記入してください。

	和	洋	計
(1) 購入	冊	冊	(自動計算) 冊
(2) 寄贈	冊	冊	(自動計算) 冊
(3) その他	冊	冊	(自動計算) 冊
(4) 総受入冊数	(自動計算) 冊	(自動計算) 冊	(自動計算) 冊

2 雑誌受入数

- ◆ 「(3)その他」には、図書館又は大学の予算で自家生産した雑誌(研究報告、紀要等)、学内において移管等により受け入れたもの等を記入してください。
- ◆ 製本した雑誌を「1 図書受入数」に計上したタイトルについても「2 雑誌受入数」の種類として計上してください。

	和	洋	計
(1) 購入	種類	種類	(自動計算) 種類
(2) 寄贈	種類	種類	(自動計算) 種類
(3) その他	種類	種類	(自動計算) 種類
(4) 総受入種類数	(自動計算) 種類	(自動計算) 種類	(自動計算) 種類

3 自由記述欄

- ◆ 「(D) 図書・雑誌受入数」に関し、記入した回答が設問の趣旨と合致しない場合(空欄とした場合を含む)は、その理由や、どのように回答したのかを記入してください。
- ◆ 中央館で一括回答する場合や、前年度の数値と著しい差異がある場合で特筆すべき理由がある場合(例:大型の図書寄贈を受けた)など、大学独自の事情がある場合も記入してください。

--

(E) サービス状況(平成 29 年度実績)

- ◆ 統計をとっていない場合は、概数で記入してください。

1 開館状況

- ◆ 「時間数」を記入する項目には、分単位を切り上げたものを記入してください。
- ◆ 複数(2 以上)の図書室の数を集計して 1 図書館・室として報告する場合は、それらの平均値(小数点以下は四捨五入)を記入してください。
- ◆ 「授業実施日」とは、平日・土曜日・日曜日・祝日等に限らず、大学(学部・学科を含む)が定めた通常授業及び試験が行われる日を指します。
- ◆ 「授業実施日でない」とは、授業・試験が行われない土曜・日曜・祝日や長期休暇期間を指します。
- ◆ 複数の学部にあまたがって図書館が所属している場合は、学部共通の休暇期間を「授業実施日でない」期間としてください。
- ◆ 学事暦と関係なく図書館を運営している場合は、「授業実施日の平日」「授業実施日の土曜・日曜・祝日」に記入し、「授業実施日でない開館日」にはすべてゼロを記入してください。
- ◆ 「時間外開館時間」とは、専任職員の通常勤務時間外の開館時間を指します。専任職員の勤務時間が複数パターンある場合は、開館準備のために出勤する専任職員の勤務時間を通常勤務時間としてください。
- ◆ 業務委託等により図書館に専任職員が配置されていない場合は、時間外開館時間数には「0」を記入したうえで、「(E) 6 自由記述欄」に理由を記入してください。
- ◆ 通常閉館日である休日にオープンキャンパス等の行事が行われた場合や、試験的に開館をしたものは「(1) 1 日の標準開館時間数」の対象には含めないでください。ただし「(2) 開館総日数・時間数」には含めてください。

(1) 1 日の標準開館時間数

	授業実施日の平日	授業実施日の土曜・日曜・祝日	授業実施日でない開館日
開館時間数	時間	時間	時間
うち時間外開館時間数	時間	時間	時間
閉館時刻	(選択式)時 (選択式)分	(選択式)時 (選択式)分	(選択式)時 (選択式)分

(2) 開館総日数・時間数

	授業実施日の平日	授業実施日の土曜・日曜・祝日	授業実施日でない開館日	合計
開館総日数	日	日	日	(自動計算) 日
開館総時間数	時間	時間	時間	(自動計算) 時間
うち時間外開館時間数	時間	時間	時間	(自動計算) 時間

2 館外貸出冊数

- ◆ 図書館間相互協力による他の図書館への貸出は「5. 図書館間相互協力」へ記入してください。

	教職員	学生	学外者	計
館外貸出冊数	冊	冊	冊	(自動計算) 冊

3 参考業務(レファレンス・サービス)利用件数

- ◆ 「(1) レファレンス利用者別内訳」の合計と「(2) 業務内容別内訳」の合計が一致しているか確認してください。
- ◆ 利用者が複数の業務を依頼してきた場合は、業務内容別内訳に合わせて延べ件数を記入してください。

(1)レファレンス利用者別内訳

- ◆ 同一大学内の学生・教職員は、他キャンパスの所属者であっても「学内者」としてください。

学内者	(自動計算)	件
教職員		件
学生		件
学外者		件
合計	(自動計算)	件

(2)業務内容別内訳

- ◆ 「その他」については、その主なものを「(E) 6 自由記述欄」に例示してください。

文献所在調査		件
事項調査		件
利用指導		件
その他		件
合計	(自動計算)	件

4 文献複写件数

- ◆ 自館内での複写実施件数を記入してください。
- ◆ 同一大学内の学生・教職員は、他キャンパスの所属者であっても「学内者」としてください。
- ◆ 「学外」には、学外者の来館による複写のほか、図書館間相互協力による受付(国内・国外の合計)も含まれます。
- ◆ 「大学図書館」には、他大学所属者(国内・国外)の来館複写および大学図書館との図書館間相互協力(国内・国外)の件数を記入してください。

学内		件
学外	(自動計算)	件
大学図書館		件
その他		件
合計	(自動計算)	件

5 図書館間相互協力
 (1) 図書・雑誌の貸借

	貸出	借受
国内	(自動計算) 冊	(自動計算) 冊
大学図書館	冊	冊
その他	冊	冊
国外	冊	冊
合計	(自動計算) 冊	(自動計算) 冊

(2) 文献複写

	受付	依頼
国内	(自動計算) 件	(自動計算) 件
大学図書館	件	件
その他	件	件
国外	件	件
合計	(自動計算) 件	(自動計算) 件

6 自由記述欄

- ◆ 「(E) サービス状況」に関し、記入した回答が設問の趣旨と合致しない場合(空欄とした場合を含む)は、その理由や、どのように回答したのかを記入してください。
- ◆ 中央館で一括回答する場合や、前年度の数値と著しい差異がある場合で特筆すべき理由がある場合(例: 休日開館開始、学外者への貸出サービス開始)など、大学独自の事情がある場合も記入してください。

(F) 経費(平成 29 年度実績)

- ◆ 記入に際しては、大学の事務局、学部又は研究所等の経理担当者と十分協議の上、決算額を記入してください。
- ◆ 正確な数字が把握できない場合は概数でも結構ですので、空欄、またはゼロの記入はしないでください。
- ◆ 千円未満は四捨五入し、千円単位で記入してください。

1 図書館資料費の内訳(千円未満四捨五入)

- ◆ 「(C) 蔵書数」の区分に対応した形で図書館資料費を回答してください。
- ◆ 「電子ジャーナル」「電子書籍」「データベース」は、同一大学内で重複して回答しないようにしてください。
- ◆ 「電子ジャーナル」には、トランザクションのような一定の利用料金を機関として前払いする契約も含まれます。
- ◆ 「電子ジャーナル」の「その他」は、多くの出版社の電子ジャーナルを包括的に収集・提供するサービスを行う業者(いわゆる「アグリゲータ」)が提供しているものを記入してください。

図書			(自動計算)	千円
		和		千円
		洋		千円
雑誌			(自動計算)	千円
		和		千円
		洋		千円
電子 ジャーナル	出版社	国内		千円
		国外		千円
		計	(自動計算)	千円
	その他	国内		千円
		国外		千円
		計	(自動計算)	千円
	計	国内	(自動計算)	千円
		国外	(自動計算)	千円
		計	(自動計算)	千円
電子書籍			(自動計算)	千円
		国内		千円
		国外		千円
データベース			(自動計算)	千円
		国内		千円
		国外		千円
その他				千円
図書館資料費(合計)			(自動計算)	千円

2 図書館・室運営費の内訳(千円未満四捨五入)

- ◆ 建築費、施設整備費、建物新営に伴って臨時的に措置された設備備品の購入費等、その年度限りの経費は除外してください。
- ◆ 「人件費」には、専任職員に支払われた給与(賞与・諸手当を含む)、臨時職員(派遣職員も含む)、アルバイトの賃金、講師謝金等を含めてください。ただし、館長、分館長、副館長の給与については専任の場合のみこれに含め、兼任の場合は除いてください。また、法定福利費及び退職金は除外してください。
- ◆ 「情報検索ウェブサービス経費」には、ディスカバリーサービスやリンクリゾルバ等、図書館が契約して提供している検索関連のウェブサービスに係る経費を計上してください。保守費用も含まれます。
- ◆ 「システム経費」には、図書館業務システムに係る経費を計上してください。OPAC が図書館業務システムに付随する場合は、こちらに含めてください。保守費用も含まれますが、システムリプレイスなどでその年度に臨時的にかかった経費については計上しないでください。
- ◆ 「その他の経費」には、経常的備品費(書架、机、椅子、カードケース等)、経常的消耗品費(図書カード、文具類等)、印刷製本費(図書目録印刷費、製本費、資料修繕費等)、光熱水料(電気料、ガス料、水道料、燃料費等)、通信運搬費(電話等の通信料、郵便代等)、電子計算機、複写機等賃借契約に基づき導入している機器の賃借料、会議費、職員旅費、業務委託経費(図書館業務、清掃業務、警備業務等)等を含めてください。

人件費		千円
情報検索ウェブサービス経費		千円
システム経費		千円
その他の経費		千円
図書館・室運営費(合計)	(自動計算)	千円

3 自由記述欄

- ◆ 「(F)経費」に関し、記入する値が設問の趣旨と合致しない場合(空欄とした場合を含む)は、その理由や、どのように回答したのかを記入してください。
- ◆ 中央館で一括回答する場合、前年度の数値と著しい差異がある場合で特筆すべき理由がある場合(例:予算の増減、購入方針の変更)など、大学独自の事情がある場合も記入してください。

(G) 外部委託業務(平成 29 年度実績)

- ◆ この外部委託には非常勤職員を雇用して館内で行う業務は除きます。
- ◆ 図書館でなく大学が契約しているものも含めます。

1 委託の有無(単一選択)

- ◆ 「一部委託」を選択した場合には、「(G) 2 業務別内訳について」で、該当する委託業務を選択してください。(複数選択可)

- 全面委託
- 一部委託
- 何も委託していない

2 業務別内訳について(複数選択可)【※「一部委託」の場合】

- 目録所在情報データベースの作成
- 一次情報(原文情報)データベースの作成
- 電算機運用(システム開発等)
- 複写
- 製本
- 受付・閲覧
- 清掃
- 警備
- 時間外開館業務
- その他()
()
()

3 自由記述欄

- ◆ 「(G)外部委託業務」に関し、記入した回答が設問の趣旨と合致しない場合(空欄とした場合を含む)は、その理由や、どのように回答したのかを記入してください。
- ◆ 中央館で一括回答する場合、前年度の数値と著しい差異がある場合で特筆すべき理由がある場合など、大学独自の事情がある場合も記入してください。

(H) 図書館の公開(平成 29 年度実績)

◆ 統計をとっていない図書館・室は、概数で記入してください。

1 学外者の図書館の利用について(単一選択)

◆ 「時間内のみ利用を認めている」「時間外開館中の利用も認めている」を選択した場合は、「2 学外者の利用者数、利用を認めている学外者の所属、条件、範囲」にも回答してください。

- 認めていない
- 時間内のみ利用を認めている
- 時間外開館中の利用も認めている

2 学外者の利用者数、利用を認めている利用者の所属、条件、範囲(複数選択可)

◆ 「学外者の利用者数」には学外の来館者数を延べ人数で記入してください。

◆ 「利用者の所属」「利用の条件」「利用の範囲」は、利用が認められている学外者の一部でも当てはまるものがあれば、選択してください。

学外者の利用者数 (総計)	() 人
利用者の所属	<input type="checkbox"/> 他の大学の学生 <input type="checkbox"/> 他の大学の研究者 <input type="checkbox"/> 学内に所在する全国共同利用の研究センターに係る共同利用研究者 <input type="checkbox"/> 上記以外の機関の研究者 <input type="checkbox"/> 卒業生・退職者 <input type="checkbox"/> その他()
利用の条件	<input type="checkbox"/> 所属する機関の図書館の紹介 <input type="checkbox"/> 所属する機関以外の図書館の紹介 <input type="checkbox"/> 研究者の紹介 <input type="checkbox"/> 身分証明書等の提示 <input type="checkbox"/> 利用条件なし <input type="checkbox"/> その他()
利用の範囲	<input type="checkbox"/> 情報検索 <input type="checkbox"/> 館内閲覧 <input type="checkbox"/> 館外貸出 <input type="checkbox"/> 複写サービス <input type="checkbox"/> 参考調査 <input type="checkbox"/> その他()

3 自由記述欄

◆ 「(H) 図書館の公開」に関し、記入した回答が設問の趣旨と合致しない場合(空欄とした場合を含む)は、その理由や、どのように回答したのかを記入してください。

◆ 中央館で一括回答する場合、前年度の数值と著しい差異がある場合で特筆すべき理由がある場合な

ど、大学独自の事情がある場合も記入してください。

(I) 他機関との連携(中央図書館で記入のため省略)

(J) 電子図書館的機能(中央図書館で記入のため省略)

(K) 機関リポジトリ(中央図書館で記入のため省略)

(L) アクティブ・ラーニング・スペース（平成30年5月1日現在）

1 設置の有無

- ◆「設置の有無」で「設置している」を選択した場合には、「(L) 2 設置状況」「(L) 3 用途」「(L) 4 提供するサービス」及び「(L) 5 運営体制」についても回答してください。

設置の有無（単一選択）	<input type="radio"/> 設置している <input type="radio"/> 設置していない
設置の検討 【設置していない場合】	<input type="radio"/> 検討している <input type="radio"/> 検討していない

〈1で「設置している」の場合〉

2 設置状況

名称	
設置時期	年 月
設置場所（複数選択可）	<input type="checkbox"/> 図書館内 <input type="checkbox"/> 図書館外
面積	m ²

3 用途（複数選択可）

<input type="checkbox"/> グループ学習スペース <input type="checkbox"/> プレゼンテーションスペース <input type="checkbox"/> サイレントスペース <input type="checkbox"/> リフレッシュスペース <input type="checkbox"/> その他()

4 提供するサービス（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 学習・研究サポート <input type="checkbox"/> 図書館利用・文献検索サポート(ガイダンス等を含む) <input type="checkbox"/> 分野別学習相談 <input type="checkbox"/> ITサポート <input type="checkbox"/> ライティングサポート <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 授業関連図書の提供 <input type="checkbox"/> 端末(PC, iPad など)の貸出 <input type="checkbox"/> 可動式什器(机、椅子、ホワイトボードなど)の貸出 <input type="checkbox"/> その他()
--

5 運営体制(複数選択可)

- | | | | |
|--------------------------|--------------|---|----|
| <input type="checkbox"/> | 職員 (図書館) | (| 人) |
| <input type="checkbox"/> | 職員 (図書館以外) | (| 人) |
| <input type="checkbox"/> | 教員 | (| 人) |
| <input type="checkbox"/> | 学生 (TA、SA 等) | (| 人) |
| <input type="checkbox"/> | その他 | (| 人) |

6 自由記述欄

- ◆ 「(L)アクティブ・ラーニング・スペース」に関し、記入した回答が設問の趣旨と合致しない場合(空欄とした場合を含む)は、その理由や、どのように回答したのかを記入してください。
- ◆ 中央館で一括回答する場合、前年度の数值と著しい差異がある場合で特筆すべき理由がある場合など、大学独自の事情がある場合も記入してください。
- ◆ 「(L) 1 設置の有無」において「設置している」と回答した図書館は、当該スペースの利活用事例や課題等を、「設置の検討」において「検討している」または「検討していない」と回答した図書館は、その理由や課題等を記入してください。

--

(M) 課題(中央図書館で記入のため省略)

<自由記述欄>

1. 学術情報基盤実態調査についての意見・要望、本調査で知りたい情報がありましたらお知らせください。今後の調査の参考にさせていただきます。
2. 独自性があり他大学図書館のモデルとなりうる自館の取組や、他大学の実施例を知りたい分野がありましたらご記入ください。「大学図書館における先進的な取組の実践例」の参考とさせていただきます。

(参考) 大学図書館における先進的な取組の実践例 (Web 版)

http://www.mext.go.jp/a_menu/kaihatu/jouhou/1341374.htm

3. 図書館の利用に障害のある利用者（視覚障害者や聴覚障害者など。記入欄下の説明も参照してください。）へのサービスに関して積極的な取組をしている場合は、具体的な内容をご記入ください。実践事例収集の参考とさせていただきます。